

令和4年度シラバス

視能訓練士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
生理光学 I 演習		講義・演習	荒木 渚・谷口 誠典	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
30 時間 (1 単位)		15 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
視力屈折検査は眼科検査を代表する最も有名な検査です。生理光学 I で習った原理を理解し検査の実践ができることを目的とします。				
授業の到達目標				
①視力値の判定ができる。②球面レンズ矯正ができる。③結果を記載できる。④オートレフラクトメータを用いて眼の屈折値を測定することができる。				
授業計画				
回	内容			
1	裸眼視力0.1～1.2			
2	裸眼視力0.1未満			
3	球面レンズ矯正(レフなし) 近視①			
4	球面レンズ矯正(レフなし) 近視②			
5	球面レンズ矯正(レフなし) 近視③			
6	球面レンズ矯正(レフなし) 遠視①			
7	球面レンズ矯正(レフなし) 遠視②			
8	赤緑試験			
9	屈折検査の分類、オートレフラクトメータ			
10	球面レンズ矯正(レフあり) ①			
11	球面レンズ矯正(レフあり) ②			
12	球面レンズ矯正 雲霧法(遠視、調節痙攣)			
13	実技試験①			
14	実技試験②			
15	実技試験③			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	60%			
レポート				
小テスト				
平常点				
その他	40%	実技試験。		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
視能学 第3版	小林義治 他編	文光堂		
目でみる視力・屈折検査の進めかた 改訂第2版	所敬 他	金原出版		
視能学エキスパート 視能検査学	和田直子	医学書院		
眼科検査ガイド 第3版	根木昭 他	文光堂		
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
理解を深めよう視力検査屈折検査	所敬 他	金原出版		
屈折異常とその矯正 改訂第7版	所敬	金原出版		
自由記載				
備考				